

環境汚染の防止

コーセーは2008年度も、環境関連法規の遵守はもちろん、グループ全体で環境負荷要因を極力減らす努力を続け、環境への汚染等の防止に努めてきました。

法規制の遵守

環境基本法をはじめとする環境関連の各種法規制、条例や地域協定の遵守を徹底するために、ISO14001に適合した法規制への対応を実践しています。特に生産・物流部門では独自に設定した統一の『環境マニュアル』に従って事業所ごとに、また関係会社の工場ごとに対応しています。また、将来の法制化にもすみやかに対応できるよう法規制の動向も常に監視しています。

化学物質への対応

化粧品は身体に直接使用するものなので、製造段階でも有害な化学物質を使用することはありませんが、まれにPRTR法(特定化学物質排出量の把握・管理促進法)等、化学物質の管理に関する法や条例の適用を受ける物質を使用する場合があります。

コーセーでは対象となる化学物質をどれだけ環境の中に排出したかを監視・測定するシステムを構築しています。この監視・測定システムの運用によって法律に厳密に対応するとともに、これらの化学物質の使用や排出の削減に努めています。

なお2008年度実績では届け出対象となる化学物質の使用は2種だけでした。

洗浄污水のクリーン化

生産プラントは製造作業終了後に水等で洗浄する必要があります。しかしコーセーでは関係会社の生産施設を含め、生産プラントに付着したバルクを洗い流す前に回収作業を行うことによって、洗浄汚水量の削減に努めています。また、場合によっては初期洗浄水も回収して、洗浄污水が廃水処理場へ流れ込むことを避ける工夫をしています。

群馬事業所におけるボイラのガス化

従来、群馬事業所では灯油を燃料としたボイラを4基使用していたが、原油の高騰への対処やCO₂の削減のために、天然ガス使用のボイラへと転換工事を実施しました。生産施設が稼働中に工事をする必要があるため、工期3ヶ月という短期間で工事を行い、2008年7月には全てのボイラのガス化を達成しました。効果の測定はこれからですが、経費はもちろん、CO₂も灯油ボイラより25%の削減効果が見込まれています。

環境関連投資

環境負荷をできるだけ低減させていくために、毎年環境に関わる投資も積極的に実施しています。2008年度に実施した環境投資の例をご紹介します。



遮熱塗装を行った屋根

●狭山事業所における環境関連投資

件名	環境的側面
生産施設の屋根に遮熱塗装工事(3棟実施)	省エネルギー
工場内通路照明の自動化	省エネルギー
事業所内不要設備の撤去工事	大気汚染の防止
井戸受水槽清掃工事	地盤沈下 水質汚濁防止
排水処理施設の定期整備工事及び排水処理安定稼働増強工事	水質汚濁防止
ダンボールの緩衝材への再利用	社内リサイクル
井戸純水専用配管工事	地盤沈下 水質汚濁防止
事業所内分煙化の促進	事業所内分煙化の促進 受動喫煙防止
バッテリー駆動フォークリフトの更新	大気汚染の防止
新型エアコンプレッサーの導入(2台)	省エネルギー
粉体製造室空調装置の煤塵フィルター交換工事	大気汚染の防止

狭山事業所、群馬事業所の環境負荷データ

コーセーの事業範囲は関係会社を含めてそのほとんどが化粧品です。生産も主要拠点である狭山事業所と群馬事業所への集中度が高いことから、2008年度の環境負荷データもこの2工場に絞ってまとめました。こなお、2008年度の環境会計につきましては、33-34ページをご覧ください。

	今年度	前年との増減量
電気エネルギー	12,379 (単位/1000kw)	△330
重油・灯油	509 (単位/1000L)	△478
天然ガス	376 (単位/1000Nm ³)	376
水	253 (単位/1000m ³)	±0
原料	8,943 (ton)	△465 (ton)
容器・包装材料	6,628 (ton)	△115 (ton)

INPUT

コーセー主力工場(2拠点)



狭山事業所



群馬事業所

	今年度	前年との増減量		今年度	前年との増減量
大気への排出	CO ₂ : 7,384.00 (ton)	178 (ton)	化学物質の排出 (PRTR対象物質)	大気: 0 (ton)	±0
	NOx: 2.99 (ton)	△2.53 (ton)		産業廃棄: 0 (ton)	±0
	SOx: 0.48 (ton)	0.04 (ton)			
工場排水の排出	排水量: 164 (単位/1000m ³)	4	産業廃棄物の搬出	総排出量: 2,324.0 (ton)	△453.8 (ton)
	BOD: 18.13 (ton)	△1.3 (ton)		再資源化: 2,320.5 (ton) *	△454.4 (ton)
	SS: 5.69 (ton)	△1.59 (ton)		単純焼却: 3.5 (ton)	3.5 (ton)
	n-Hex: 0.50 (ton)	0.034 (ton)		埋立処分: 0 (ton)	△2.9 (ton)

OUTPUT

*再資源化の内訳
 マテリアルリサイクル1,860.3(ton) [△226 ton]
 ケミカルリサイクル 331.2(ton) [41.1 ton]
 サーマルリサイクル 129.0(ton) [△269.5 ton]
 []内の数字は前年との増減量です。